

## 「知床岬赤岩地区羅臼昆布エコツアー」実施状況等について

知床羅臼町観光協会

## 1. 取組と経過

- H26. 5/9 第1回検討部会  
 5/20 第2回検討部会 第1回の課題解決・6月検討会議提出内容の確認  
 7/14 検討会議 本事業の提案、モニターツアーの提案。  
 3年間のモニターツアーの実施を承認。  
 8/8～モニターツアー実施（8/8・9、8/13・14の計2回）  
 10/9 第3回検討部会 本事業の内容見直し  
 12/17 第4回検討部会（荒天中止）検討会議に向けた内容の確認 メール協議
- H27. 1/22 検討会議 本事業の提案（再）・モニターツアーの継続を承認。  
 検討部会を実施部会として再構成。  
 2/1 ガイド登録について検討開始  
 7/20～モニターツアー実施（計7回）  
 8/24 第1回実施部会 本事業内容の実施状況確認  
 9/1 検討会議 本事業の報告
- H28. 8/12～モニターツアー実施（1回）  
 8/23 第2回実施部会  
 9/6 検討会議 本事業内容の実施状況確認、本事業の提案（再）  
 2/10 意見交換会  
 2/17 第3回実施部会

## 2. モニターツアーの実施結果について

3年間で、99名が参加し、携わった関係者は延べ56名となった。

## (1) 平成26年度 実施日及び参加者

- 1回目 8月8日～9日  
参加者数 5名（主催者側 ガイド2名、役場職員、観光協会）
- 2回目 8月13日～14日  
参加者数 9名（主催者側 ガイド3名、役場職員、観光協会、植生モニタリング調査の現地指導のため林野庁3名）
- 実施回数計2回 参加者数計14名、関係者延べ12名

## (2) 平成27年度 実施日及び参加者

- 1回目 7月20日～7月21日  
参加者数 12名（ほか添乗員1名）、主催者側 ガイド（船頭含む）4名、観光協会1名
- 2回目 7月21日～7月22日  
参加者数 13名、主催者側 ガイド（船頭含む）4名、観光協会1名
- 3回目 7月24日～7月25日  
参加者数 10名（ほか添乗員1名）、主催者側 ガイド（船頭含む）5名、観光協会1名
- 4回目 7月28日～7月29日  
参加者数 10名（ほか添乗員1名）、主催者側 ガイド（船頭含む）4名、観光協会1名

- その他 検討会議座長 敷田麻美氏
- 5回目 7月29日～7月30日
  - 参加者数 7名（ほか添乗員1名）、主催者側 ガイド（船頭含む）4名、観光協会1名
- 6回目 8月2日～8月3日
  - 参加者数 14名、主催者側 ガイド（船頭含む）4名、観光協会1名
  - その他 環境省羅臼自然保護官事務所 高瀬裕樹氏
- 7回目 8月3日～8月4日
  - 参加者数 12名、主催者側 ガイド（船頭含む）4名、観光協会1名
  - その他 羅臼町教育委員会自然環境教育主幹 金澤祐司氏 コメント別添  
羅臼町役場水産商工観光課長補佐 田澤道弘氏

●実施回数計7回 参加者数計78名（ほか添乗員4名）、関係者延べ39名

### （3）平成28年度 実施日及び参加者

- 1回目 8月12日～13日
  - 参加者数 7名、主催者側 ガイド（船頭含む）4名、観光協会1名

（参加者内訳）

有識者4名 有識者からのコメント別添

結城正美（金沢大学人間社会研究域歴史言語文化学系 教授、環境文学研究者）

豊里真弓（札幌大学女子短期大学部教授、環境文学研究者）

富田俊明（北海道教育大学釧路校 美術教育講座 准教授、美術家）

藤木正則（元稚内北星学園大学情報メディア学部講師、美術家）

メディア2名

中山芳子・竹内智恵（シリエトクノート編集部記者）

羅臼高校教諭

●実施回数計1回 参加者数計7名、関係者5名

## 3. モニタリング及びアンケート調査について

### （1）モニタリング

ツアーモニタリング

ツアーを掌握する観光協会が、反省点や所感等を記載し、ツアー内容の改善に努めた。

### ②植生モニタリング

北海道森林管理局 知床森林生態系保全センターによる植生調査を実施した。

【内容】H26. 8. 14 及び H27. 8. 5、H28. 8. 8、ツアー客が通行する箇所を含むように 3m×100m のプロットを設定し、そこに見られる植物種のリスタアップを行った。

### 【結果】

・平成26、27、28年度に確認できた植物種



#### 〈通路〉 6科9種

アキタブキ、エゾオグルマ、シロヨモギ、エゾノカラマツバ、エゾノシシウド、ハマエンドウ、オオイタドリ、ヒメスイバ（外来種）、ハナムギ

#### 〈周辺〉 13科18種

エゾヨモギ、コウゾリナ、ミヤマアキノキリンソウ、ヤマハハコ、ハマベンケイソウ、ハマボウフウ、ナナカマド、ナワシロイチゴ、ノリウツギ、エゾノキリンソウ、アキカラマツ、ギシギシ、ハンノキ、トドマツ、イタヤカエデ、キタコブシ、ホオノキ、ヤマブドウ

#### 2) 希少種

・ ツアー客の通路には、環境省レッドリスト（絶滅のおそれのある種）及び北海道レッドリストに入っている種は見られなかった。ただ、プロットより山側（通路から大きく外れた箇所）には環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類（VU）に分類されるシコタンハコベが見られた。

#### 【考察】

3年間の調査を比較した結果、通路に関してはほぼ同じ植生であり変化は確認できなかった。

また、通路には外来種であるヒメスイバも見られたが、調査初年度から容易に確認できるほど生えており、本ツアー後に運ばれてきたとは考えにくい。

なお、ツアー主催者が植生の踏みつけに対する啓発や足裏等に付着し持ち込まれる可能性のある植物の種を排除する対策も行っており、ツアーによる植生への影響は最小限と考える。

#### ③知床半島利用者モニタリング

環境省羅臼自然保護官事務所による「原生感アンケート」を実施した。

（回答数が多かった平成28年度分を記載）

#### 【内容】

・ H28.7.15～8.17、知床半島先端部地区における海岸トレッキング利用者の「原生自然感」について、ルサフィールドハウス、羅臼ビジターセンター、相泊に設置された入林箱にアンケートを設置し、利用者を対象に利用前或いは利用後に配布し、記入してもらった。

#### 【結果・考察】

- ・ 7件（7パーティ：計12名）の回答を得た。
- ・ エコツアーを（見ていないが）もし目にした場合、「気になる」と回答した3件のうち2件は、漁業活動を見ても「少し気になる」または「気になる」と回答している。
- ・ エコツアーを（見ていないが）もし目にした場合、「あまり気にならない」「良いと思う」との回答がそれぞれ1件ずつある。
- ・ 船で上陸すべきでないというコメントが3件みられる。
- ・ 以上のように意見が割れている（＝どちらか一方ではない）。
- ・ 回答数は極少数であり、本アンケート結果については、参考データとして扱いたい。

#### （2）アンケート 別添資料

#### 4. その他の取り組みについて

- ・本ツアーの実施意義について、有識者の方々から考察をいただいた。 別添資料

- ・「知床岬赤岩地区羅臼昆布エコツアー報告会」開催  
本ツアーの平成 26. 27 年度の実施内容について報告会を開催した。

開催日：平成 28 年 4 月 1 日（金）14:00～15:30  
参加者：34 名

地元昆布漁経験者の参加があり、写真資料の提供を受けたほか、当時の昆布漁や生活の様子についてヒアリングできた。本年のモニターツアーにはガイドとして同行していただいた。

(写真は報告会のヒアリングの様子)



- ・「ガイド勉強会」開催

報告会で得られた情報とその後寄せられた写真資料及び協会独自に文献調査した結果をまとめ、勉強会を開催した。

開催日：平成 28 年 7 月 1 日（金）13:00～15:30



- ・羅臼郷土写真展「The Last Kelp Harvesting -知床岬の昆布漁-」開催

本ツアー及び報告会・勉強会、文献調査で得られた知床岬の昆布漁の史実をまとめ、写真展を開催した。

写真展開催時の説明資料別添

開催期間：平成 28 年 7 月 16 日（土）～8 月 15 日（月）  
来場者：延べ 260 名



- ・意見交換会

当エコツアーの継続について、実施者と地元の関係者に意見を伺った。

開催日 平成 29 年 2 月 10 日（金）16:30～18:40  
参加者 16 名